



教室ではこんなことを指導しています

《児童・生徒には》
日本の生活様式や文化、学校に必要な最小限の日本語会話能力、学校生活での決まり、ひらがな・カタカナの表記と読み

《保護者には》
教育相談（就学に関する相談・情報提供）、日本（市）の教育制度と流れ（義務教育～高校進学）、日本の生活様式や文化、地域での生活

初期指導教室「NAGOMI（和み）」
今年度から、長浜市に引っ越してきた外国人児童生徒のうち、日本語が十分話せない子や日本の学校生活がはじめてという子に対し、学習や生活が円滑に進むよう、初歩的・基礎的な、生活指導や日本語の指導を一定期間集中的に行う初期指導教室「NAGOMI（和み）」を始めました。
4月10日に12人でスタートした教室は、その後少しずつ生徒が増え、現在では19人になりました。
また、6月15日には初めての修了者があり、その成果が出てきたところです。

教室名の「NAGOMI（和み）」は、子どもたちがお互い仲良くし、和やかな生活を送ることができると同時に、日本での生活に慣れ、うまくまざっていきけることを願ってつけられました。



長浜市民国際交流協会
毎年、外国人と共に生活しやすいまちづくりの推進のために外国人による弁論大会「YOU U 弁 IN NAGAHAMA」を開催されたり、さまざまな地域での国際交流を支援されています。



長浜ユネスコ協会 日本語教室
週2回（水・土）午後7時から、国際文化交流ハウスGEO（神照町）で、多くのボランティアの方が講師となつて、日本語教室が開催されています。

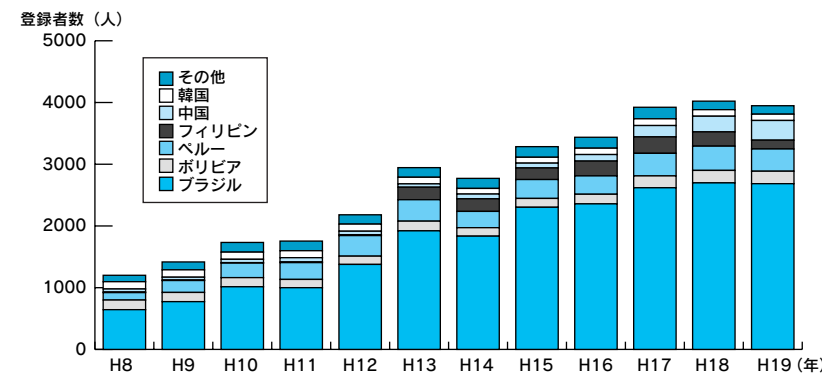
※日本語講師募集中！お問合せは、長浜ユネスコ協会事務局（生涯学習スポーツ課内）（☎6552）へ。

共生社会の実現に向けて

言葉や文化の違いをのりこえ、地球市民として共生をしていくためには、身構えず普段通りに接することや、飛び込んでいく勇氣、共通の話題を見つけてコミュニケーションをとる気持ちをもつことなどがポイントのようです。
また、言葉は異文化をつなぐ架け橋であり、お互いの不信感を取り除く基礎だと言われている。だから、外国人が日本語を、日本人が外国語を学ぶことは、お互いを理解し、共に暮らしていく上でとても重要なことだと考えられます。
さらに大切なのはお互いが努力すること。ここは日本だからと、一方的に日本や地域のルールを外国人に押しつけるのはいけません。それらのルールを外国人にわかりやすく説明し、しっかりと理解してもらいながら、ルールが自然と身につくようお互いが工夫していくことが大切ではないでしょうか。
日本語には「おたがいさま」という素晴らしい言葉があります。市ではお知らせしてきているように、多文化共生に向けていろいろな取り組みを始めたいと思います。みなさんも「おたがいさま」の気持ちを大切にしなが、まずはあいさつから始めてみませんか。

市内の外国人登録状況

市内の外国人登録者数は年々増加の一途をたどっています。本年3月末には、3,948人、総人口に占める割合が4.7%となり、約20人に1人の市民が外国人となっています。国籍は30か国以上、国籍別に見るとブラジルが約70%を占めており、その次にペルー、中国となっています。



【本館】ポルトガル語2人、スペイン語1人
【別館】ポルトガル語1人、【東別館】ポルトガル語2人

ポルトガル語・スペイン語 対応職員の配置
外国人住民の80%以上がポルトガル・スペイン語圏という現状を踏まえ、きめ細やかな行政サービスを提供するため、市役所にポルトガル語・スペイン語の話せる職員を配置し、通訳や相談などを行っています。

外国人住民を支える取り組み

外国人と日本人が共に暮らしていく上での不安を解消するとともに、交流を促進し、共に手を取り合つて生活できるようにしていくための市の主な取り組みを紹介します。

ポルトガル語・スペイン語版の広報きやんせ長浜の発行

特に行政情報が伝わりにくい外国人住民に対して、保健だよりや生活に密着した情報のほか、交流のきっかけとなるイベント情報などを掲載した広報紙をポルトガル語版とスペイン語版で毎月1回発行しています。



外国人向けパンフレットの作成

窓口関連の制度や手続きに関するもののほか、ごみや医療などに関する生活上必要な情報をポルトガル語やスペイン語に翻訳したパンフレットなどで外国人住民に提供しています。

国際交流員の配置

今年4月から地域での国際交流を推進するため、語学指導などを行うブラジル国籍の国際交流員を1名配置しました。

現在は、毎週木曜日にポルトガル語教室を開催するとともに、ブラジルやポルトガル語のことをわかりやすく説明する出前講座などを行っています。

外国人集住都市会議への参加

外国人住民に係わる施策や活動状況に関する情報交換を行いながら、諸問題の解決に取り組んでいくため、今年度から、南米日系人を中心とした外国人が多く住む全国の22市町で構成されている「外国人集住都市会議」にオブザーバー参加をしています。

●会員都市

太田市、大泉町、上田市、飯田市
大垣市、美濃加茂市、可児市
浜松市、富士市、磐田市、袋井市
湖西市、豊橋市、岡崎市、豊田市
西尾市、小牧市、津市、四日市市
鈴鹿市、伊賀市、湖南市

○オブザーバー都市

知立市、長浜市